

県営和野地区土地改良事業(経営体育成基盤整備事業)
事業計画書

滋 賀 県

目

次

第1章	目的	1
第2章	地域及び地積	1
第1節	地域	1
第2節	地積	1
第3章	現況	2
第1節	気象及び海象	2
第2節	土地状況	3
第3節	水利状況	5
第4節	道路概況	12
第5節	地域農業の概況	13
第6節	地域環境の概況	16
第4章	一般計画	17
第1節	事業計画の要旨	17
第2節	営農計画及び土地利用計画	17
第3節	用水計画	21
第4節	排水計画	26
第5節	道路計画	29
第6節	農用地造成計画	30
第7節	洪水調節計画	30
第8節	干拓計画	30
第9節	農用地整備計画	30
第10節	老朽ため池改修計画	32
第5章	主要工事計画	33
第1節	用水施設	33
第2節	排水施設	35
第3節	道路及び索道	35
第4節	農用地造成	36
第5節	洪水調節施設	36
第6節	干拓施設	36
第7節	農用地整備施設	36
第8節	老朽ため池改修施設	37

第6章	附帯工事計画	38
第7章	工事着手及び完了の予定時期	38
第8章	環境との調和への配慮	38
第9章	換地計画の概要	39
第1節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	39
第2節	換地区の設定	39
第3節	換地計画樹立の基本方針	39
第4節	土地の評価及び清算の方法	42
第5節	換地計画樹立の年度計画	42
第6節	換地処分 of 時期に関する特則	42
第10章	事業費の総額及び内訳	43
第11章	効用	43
第12章	関連する事業	44
第13章	現況・計画図面	44

第1章 目的

本事業は農業競争力強化農地整備事業に基づき、生産効率を高め競争力ある「攻めの農業」に向け、担い手への農地集積の加速化や農業の高付加価値化等を推進することを目的として区画整理及び農業施設の整備を行い、併せて必要な土地改良事業を総合的かつ集中的に実施するものである。

第2章 地域及び地積

第1節 地域

(第1表)

事業名	地域
区画整理	滋賀県甲賀市水口町和野

第2節 地積

(令和6年3月現在) (第2表)

事業名	現況地目	田	畑	原野	山林	その他	計	備考
	市町村名	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
区画整理	甲賀市	92.5	-	-	-	12.8	105.3	
合計		92.5	-	-	-	12.8	105.3	

第3章 現況

第1節 気象及び海象

1 一般気象

(第3表-1)

観測所名	土山	かんがい期	非かんがい期	計または平均	備 考
観測期間	S63年～H29年	5月 ～ 9月	10月 ～ 4月		
平 均 気 温 (℃)		21.5 ℃	7.4 ℃	13.3 ℃	
降 水 量	平 均 (mm)	990 mm	663 mm	1,642 mm	
	基準年 (mm)	mm	mm	mm	
降水日数	平 均 (日)	60 日	72 日	132 日	
	基準年 (日)	日	日	日	
根 雪 期 間		-		- 日間	
無 霜 期 間		-		- 日間	
最 多 風 向		E S E	最大風速 (風向)	16.6 m/s (E S E)	最多風向発生時期 4月～10月 最大風速発生日 平成25年4月6日

2 特殊気象

(第3表-2)

観 測 所 名	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備 考
	土山															
観 測 期 間	数 量	年月日	発生確率	数 量	年月日	発生確率	数 量	年月日	発生確率	数 量	年月日	発生確率	数 量	年月日	発生確率	
S63年～H29年																
最大日雨量(mm)	231.0	H7. 5. 12		223. 5	H26. 8. 9		216. 0	H29. 10. 22		203. 0	H25. 9. 16		203. 0	H23. 7. 19		
最大時間雨量(mm)	47. 5	H25. 9. 16		46. 0	H6. 9. 16		45. 5	H26. 8. 9		45. 0	H11. 8. 1		43. 0	H21. 7. 22		
最大連続雨量(mm)	423. 0	S63. 8. 10 ～ 8. 17		421. 0	H29. 10. 13 ～ 10. 25		401. 0	H 2. 9. 13 ～ 9. 20		364. 5	H25. 9. 15 ～ 9. 16		363. 0	H 7. 5. 11 ～ 5. 16		
最大連続干天日数 (日)	44	H10. 12. 6 ～H11. 1. 18		40	H21. 12. 12 ～H22. 1. 20		40	H16. 1. 20 ～ 2. 28		38	H 9. 10. 5 ～ 11. 11		34	H 7. 11. 21 ～ 12. 24		

3 海 象 該当なし

第2節 土地状況

1 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地 目	田						畑 ・ そ の 他								受益地標高(m)		備 考
	傾 斜 区 分	1/1,000 未満	1/1,000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 未満	3° ～ 8°	8° ～15°			15° ～ 20°	20° 以上	計	最高	最低	
										8° ～ 10°	10° ～ 15°	8° ～ 15°						
区画整理	面積(ha)	-	32.5	58.4	1.6	-	92.5	-	-	-	-	-	-	-	-	217.1	190.0	
	比率(%)	-	35	63	2	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-			
	面積(ha)																	
	比率(%)																	
合計	面積(ha)	-	32.5	58.4	1.6	-	92.5	-	-	-	-	-	-	-	-			
	比率(%)	-	35	63	2	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-			

(第4表-1-2)

項目 土壌統（区）名	土 壌 統（区） 分 一 覧 表								面 積（ha）			備 考		
	土 壌 断 面							堆積様式	母材	事 業 名				
	色	腐植	礫層	酸化 沈殿物	土 性					泥 炭 層 黒 泥 層 及びグライ層	区 画 整 理		計	
					表土	下層土								
					一層	二層	三層							
強グライ土壌 粘土還元型	青(灰)	-	-	-	SCL	CL	-	作土直下全層	水積	非固結 堆積岩	67.7		67.7	D32
黒色土壌 粘土腐植型	灰褐	-	-	-	CL	HC	-	-	水積	非固結 堆積岩	5.4		5.4	H72
礫層土壌 砂土河床型	灰褐	-	30cm 以内	-	LS	SL	-	-	水積	非固結 堆積岩	19.4		19.4	J92
計											92.5		92.5	

2 土地分類 該当なし

3 土地利用の状況

(令和5年3月現在) (第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山 林		採 草 放牧地 (ha)	原 野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶 園 (ha)	その他の 樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
区画整理	甲賀市	92.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12.8	105.3	
合 計		92.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12.8	105.3	

4 土地所有の状況

(令和5年3月現在) (第4表-4)

事業名	所有別 区分	個 人 所 有	県 所 有	市 所 有	土地改良区	その他	計	備 考
区画整理	面 積 (ha)	105.3					105.3	
	受益者数 (人)	90					90	
	筆 数 (筆)	1,161					1,161	
	権 利 関 係	所有権						
	備考(関係戸数)	90					90	

第3節 水利状況

1 用水状況

野洲川を用水源とし、佐山幹線用水路から取水を行っている。

地区内の幹線用水路(山手幹線)は山裾部を開水路で流下しており、水管理作業に労力を要している。地区内には、土水路（用排兼用水路）もあり、各施設とも経年劣化により老朽化が著しい状況にある。

（1）用水系統

次頁、現況用水系統図 参照

現況用水模式図

排水堰上げ系統

地区内	地区外
A = 1.63 ha	A = 0.34 ha
Q1=0.032 m ³ /s	Q1=0.007 m ³ /s
Q2=0.009 m ³ /s	Q2=0.002 m ³ /s

系統名

地区内	地区外
A : 受益面積	A : 受益面積
Q1 : 代かき用水量	Q1 : 代かき用水量
Q2 : 普通期用水量	Q2 : 普通期用水量

第6-1号分土工系統

地区内	地区外
A = 14.74 ha	A = 0.17 ha
Q1=0.101 m ³ /s	Q1=0.004 m ³ /s
Q2=0.082 m ³ /s	Q2=0.001 m ³ /s

第5号分土工系統

地区内	地区外
A = 17.74 ha	A = 0.13 ha
Q1=0.153 m ³ /s	Q1=0.003 m ³ /s
Q2=0.099 m ³ /s	Q2=0.001 m ³ /s

第4号分土工系統

地区内
A = 8.98 ha
Q1=0.077 m ³ /s
Q2=0.049 m ³ /s

小分土工系統

地区内
A = 1.69 ha
Q1=0.034 m ³ /s
Q2=0.010 m ³ /s

第3-1分土工系統

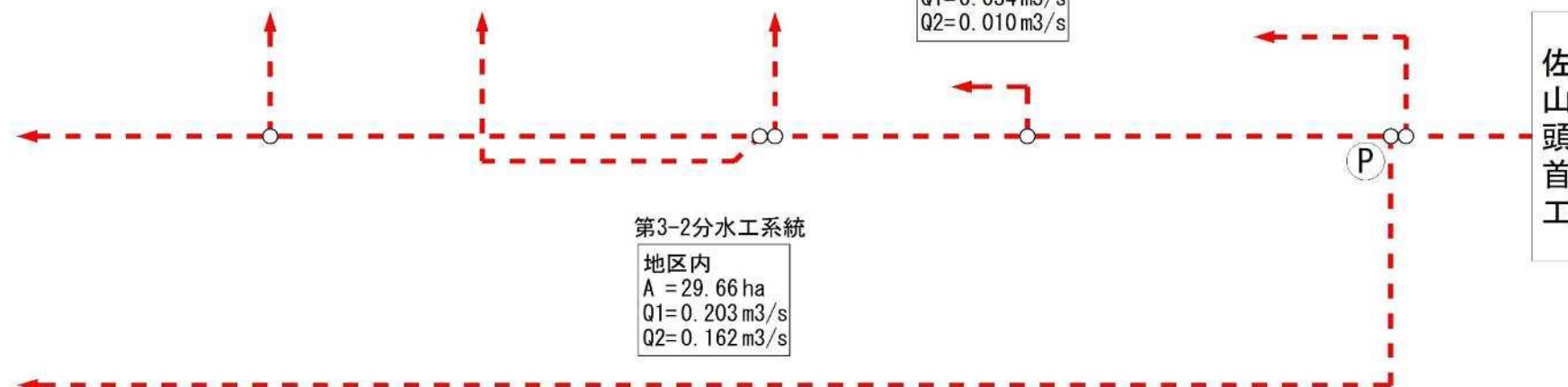
地区内
A = 17.57 ha
Q1=0.165 m ³ /s
Q2=0.115 m ³ /s

第3-2分土工系統

地区内
A = 29.66 ha
Q1=0.203 m ³ /s
Q2=0.162 m ³ /s

ため池系統

地区内
A = 0.49 ha
Q1=0.010 m ³ /s
Q2=0.003 m ³ /s



(2) 用水施設
(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ取水量	備考
		100ha以上		100ha～30ha		30ha未満									
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m ³ /s	箇所	m ³ /s	m ³ /s	
区画整理	貯水池							-	-						
	井堰			1	92.5			1	92.5	1	0.596			0.596	
	自然取入口							-	-						
	揚水機							-	-						
	その他							-	-						
	計	-	-	1	92.5	-	-	1	92.5	1	0.6	-	92.5	0.596	

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
区画整理	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路	1	92.5	土水路・二次製品水路	-	-	区画整理に伴う改修	
	その他							
	計	1	92.5					

(3) 用水に関する被害状況 該当なし

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況 該当なし

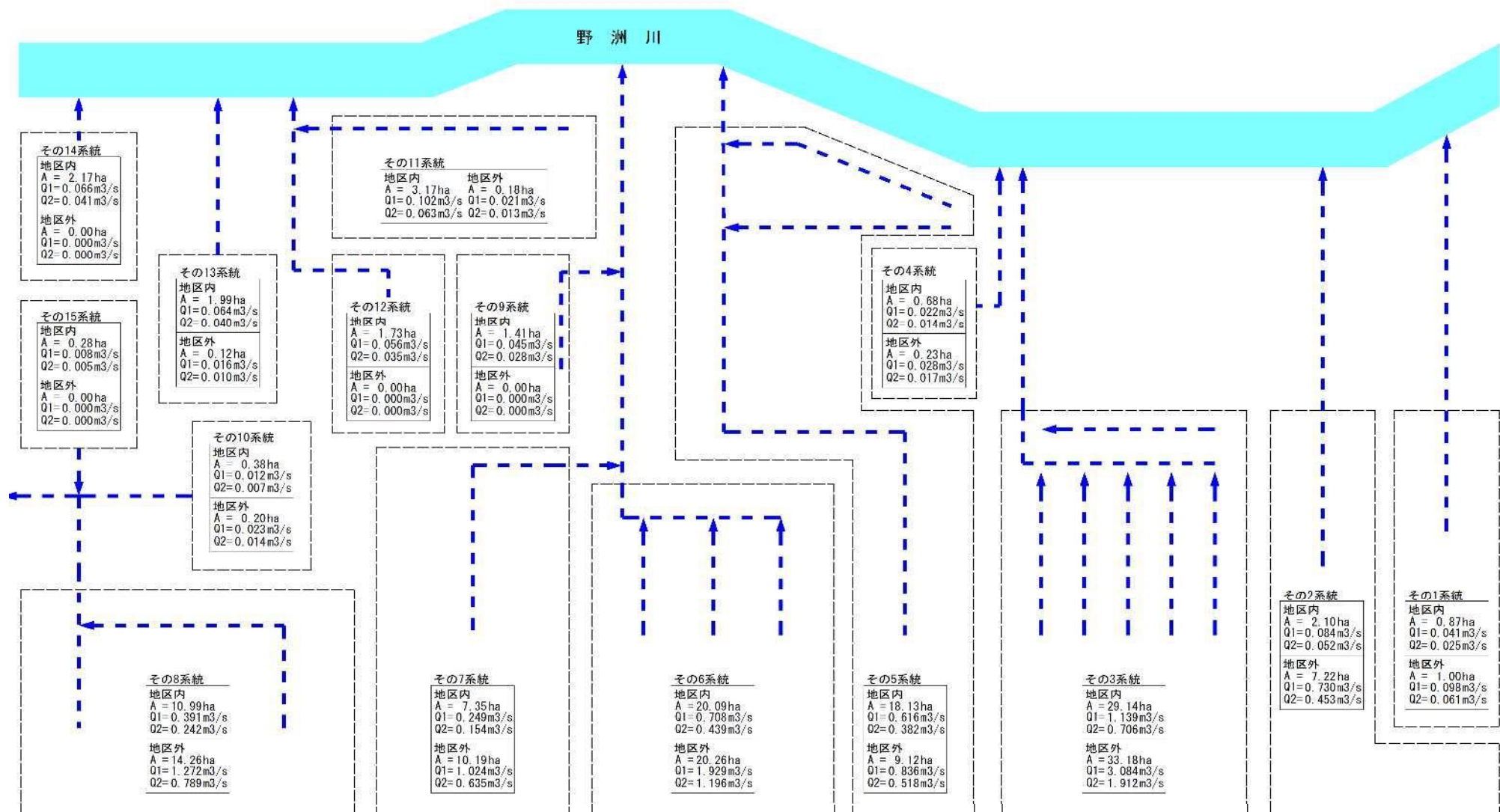
2 排水状況

本地区の排水は、地区内の水路を通じて、下流の現況水路に接続し、野洲川に流下している。

(1) 排水系統

次頁、現況排水系統図 参照

現況排水模式図



(2) 排水施設
(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目 施設名		排水面積						計		排水慣行 m ³ /s	現況排水能力 m ³ /s以上	備考
			100ha以上		100ha～30ha		30ha未満						
	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha					
区画整理	自然	排水路	1	105.3					1	105.3			
		水門								－			
	機械	排水機								－			
		水門及び排水機								－			
		排水路及び排水機								－			
	計		1	105.3	－	－	－	－	1	105.3	－	－	

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-5)

事業名	項目 施設名		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年 又は 更新年	改修を必要 とする理由	備考
区画整理	自然	排水路	1	105.3	土水路・鉄筋コンクリート柵渠	-	-	区画整理に伴う改修	
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
	計		1	105.3					

(3) 排水に関する被害状況 該当なし

(第5表-6)

事業名	項目	排水 面積 (ha)	降水量 (mm)		湛 水 状 況				乾 湿 状 況 (ha)						平均減産量		備 考
	系統名				湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m ³)	田		畑		その他		作物名	減産量 (t)	
									乾	湿	乾	湿	乾	湿			
			平均														
			基準 年														
	計																

3 河川状況

(1) 河川状況

該当なし

(第5表-7)

項 目 河川名	流 路 状 況	勾 配	断 面	計画洪水量 (m^3/s)	既往最大洪水量 (m^3/s)	備 考
—	—					

(2) 洪水に関する被害状況

該当なし

第4節 道路概況

1 道路概況

地区の中央から集落内を県道と野嵯峨線が東西に、地区東側を広域農道が南北に走っている。地区内の農道は狭小であり、農耕車の通行に支障をきたしている。



2 主要道路一覧表

(第6表)

No	路 線 名	管理区分別	延 長 (m)	幅 員 (m)		構 造	改修の要否	備 考
				全 幅	有 効			
1	県道と野嵯峨線	滋賀県				A s 舗装	否	
2	広域農道(水口第2工区)	滋賀県				A s 舗装	否	

第5節 地域農業の概況

1 産業別就業人口

(第7表-1)

項目 市町村名	総 数 (人)	農 業 (人)	林 業 (人)	漁 業 (人)	鉱 業 (人)	建 設 業 (人)	製 造 業 (人)	水熱電 道供 業給ス (人)	通運 信 業輸 (人)	小卸 売 業 (人)	金 融 保 険 業 (人)	不 動 産 業 (人)	サ ー ビ ス 業 (人)	公 務 (人)	そ の 他 (人)	備 考
甲賀市	43,303	1,469	77	4	29	2,134	14,332	83	2,240	5,452	472	335	14,039	1,172	1,465	
計	43,303	1,469	77	4	29	2,134	14,332	83	2,240	5,452	472	335	14,039	1,172	1,465	
比 率 (%)	100	3	0	0	0	5	33	0	5	13	1	1	33	3	3	

資料：令和2年国勢調査

2 経営耕地広狭別農業経営体数及び耕地の分散状況

(第7表-2)

区 分 市町村名	農 業 経 営 体 数 (経 営 体)	経営耕地広狭別農業経営体数（経営体）														1経営体当たり平均農用地面積(ha)						耕地の 分散状況		備 考
		0.3 ha 未満	0.3 ～ 0.5 ha	0.5 ～ 1.0 ha	1.0 ～ 1.5 ha	1.5 ～ 2.0 ha	2.0 ～ 3.0 ha	3.0 ～ 5.0 ha	5.0 ～ 10.0 ha	10.0 ～ 20.0 ha	20.0 ～ 30.0 ha	30.0 ～ 50.0 ha	50.0 ～ 100.0 ha	100.0 ～ 150.0 ha	150.0 ha 以上	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	団 地 当 たり 数	面 積 地 当 たり (ha)	
甲賀市	####	19	319	528	244	131	96	76	53	35	10	15	5	1	-	2.1	0.1	0.2	2.4	-	2.4	-	-	
計	####	19	319	528	244	131	96	76	53	35	10	15	5	1	0	2.1	0.1	0.2	2.4	-	2.4	-	-	
比率(%)	100	1	21	35	16	9	6	5	3	2	1	1	0	0	0	88	4	8	100	-	100	-	-	

資料：2020年農林業センサス

3 主要家畜頭数

(第7表-3)

項 目 市町村名	主 要 家 畜										備 考
	乳 用 牛		肉 用 牛		豚		採 卵 鶏				
	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (100羽)	経営体数 (経営体)			
甲賀市	745	9	130	7	x	x	704	4			「x」は秘密保護上統計数値を公表しないもの
計	745	9	130	7	x	x	704	4			
100経営体当たり 数量(頭・100羽)	49		8		-		46				
飼養経営体数 割合 (%)	1		0		-		0				

資料：2020年農林業センサス

4 主要作物作付状況

(第7表-4)

市 町 村 名			甲賀市						計	平 均	作付率	備 考
総 耕 地 面 積 (ha)			4,820						4,820			
総 本 地 面 積 (ha)			4,501						4,501			
区 分			作付面積	単位面積	作付面積	単位面積	作付面積	単位面積	作付面積	単位面積		
作物名			(ha)	当たり収量	(ha)	当たり収量	(ha)	当たり収量	(ha)	当たり収量	(%)	
				(kg/10a)		(kg/10a)		(kg/10a)		(kg/10a)		
田		水稻	2,400	497					2,400	497	53.3	
		小麦	327	220					327	220	7.3	
		大豆	211	90					211	90	4.7	
									-	-	-	
									-	-	-	
									-	-	-	
									-	-	-	
									-	-	-	
		小 計	2,938						2,938		65.3	
畑									-	-	-	
									-	-	-	
									-	-	-	
									-	-	-	
		小 計	-						-	-	-	
樹園地									-	-	-	
									-	-	-	
									-	-	-	
		小 計	-						-	-	-	
計			2,938						2,938		65.3	
市町村別延べ作付率(%)			65.3						65.3			

資料：令和5年作物統計

5 農業の動向

(第7表-5)

区分	項目	農 業 経 営 体			土 地			主 要 作 物			大 家 畜			地 域 指定等	備 考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A			
変化の状況 (C年を100とする指数)	農 業 経営体数	83	64	耕 地	98	92	水 稻	99	98	乳用牛	89	84	農業振興地域 ＜旧水口町＞ 指定 S45.6 許可 S46.8	A:令和2年 (農林業センサス) B:平成27年 (農林業センサス) C:平成22年 (農林業センサス)	
	個人 経営体数	82	62	田	99	94	小麦	75	60	肉用牛	-	93			
	団体経営体 (法人)数	171	184	畑	84	79	大 豆	86	72	豚	-	-			
	団体経営体 (非法人)数	67	54	樹園地	94	86				採卵鶏	47	47			
変化の理由	後継者不足や、高齢化により農業経営体数が減少する一方、担い手の育成により団体経営体(法人)は増加。			農地転用等による耕地面積の減。			気候やほ場条件等により、麦・大豆の作付に向かない地域では、非主食用米へ転換してきたことにより、小麦、大豆の作付けは減少。			畜産農家数は減少しているが、乳用牛、採卵鶏とも生産量を維持。					

資料：2020, 2015, 2010年 農林業センサス、作物統計

「-」…統計数値の非公表等で、変化の状況把握ができないもの

第6節 地域環境の概況

1 自然環境

＜甲賀市全体＞

- ・甲賀市は、鈴鹿山系を境に三重県と接し、山と清流に恵まれた農山村である。
- ・自然環境では19の河川その他、大小合わせて約300個ものため池が、市内全域の水田を潤している。
- ・中西部に広範囲にわたって広がる里山林を縫うように流れる佐治川、大原川、櫟野川等、杣川支流の流域一帯に広がる水田地帯は、里山林の隙間まで広がっており、特徴的な景観を形成している。

＜水口町＞

- ・水口町は、山、川など、豊かな自然環境に恵まれており、自然環境を活かした施設が多く存在する。
- ・水路、ため池の一部にはメダカが生息するが、整備で少なくなっている。
- ・メダカが減少している現状を解決するため、豊かな緑と水の保全に努めなければならない。水路やため池に生息するメダカを保全することなど、自然と共生する環境を創設し、将来に引き継いでいく必要がある。

2 社会環境・地域指定

地域指定

農業振興地域：昭和45年6月

都市計画区域：平成16年4月

3 生活環境

該当なし

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1 要 旨

和野地区は、滋賀県の東南部に位置する甲賀市の中央部に位置し、淀川水系野洲川上流左岸の河岸段丘上に展開する水田地帯である。野洲川から取水した用水を利用して稲作を行っているが、区画はおおむね10a～20aの狭小区画である。農道についても、小型車両のみ通行可能な狭小な道路であり、大型農業機械の使用が困難である等、現状のままでは集積も進まず、農地の維持が困難になっている。また、地区内の水路は開水路であるが、老朽化が著しく、水管理の省力化を図るための整備が求められている。さらに、南側の丘陵地から連なるほ場は、高低差もあり、法面の管理にも苦慮している状況である。

このため、ほ場の大区画化とあわせて道路拡幅、用水路のパイプライン化・自動給水栓の設置、一部管排水路の整備、地耐力が小さい区域への暗渠排水整備により、中心経営体（営農組合や農地所有適格法人）への集積・集約化を促進し、効率的かつ安定的な経営の充実を図り、地域農業の持続発展に向けて、本事業を実施するものである。なお、全体総事業費が大きく、全体事業完了が相当年月を要することとなるため、2地区（第1工区、第2工区）に区分し、順次事業を進めるものとする。

2 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分 事業目的	区画整理																		計 (ha)	備 考
	水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	道 水 路 等 (ha)	小 計 (ha)	水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	道 水 路 等 (ha)	小 計 (ha)	水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	道 水 路 等 (ha)	小 計 (ha)		
区画整理	79.7	0.1			25.5	105.3						-						-	105.3	
計	79.7	0.1	-	-	25.5	105.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	105.3	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1 営農計画の概要

農地の集積化による大型機械の導入、用排水路や道路の整備により耕地の汎用化を進める。そして近代化施設による機械化一貫体系を確立し、水稻を中心に麦、大豆、野菜等を取り入れた複合輪作体系を促進し、中核農家の育成を図る。

2 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用 区分	水 田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶 園	その他	小 計	原 野	山 林	その他	計	備 考
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
区画整理	現 況	92.5	-	-	-	-	-	92.5	-	-	12.8	105.3	
	計 画	79.7	0.1	-	-	-	-	79.8	-	-	25.5	105.3	
計	現 況	92.5	-	-	-	-	-	92.5	-	-	12.8	105.3	
	計 画	79.7	0.1	-	-	-	-	79.8	-	-	25.5	105.3	

3 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1 年 目												2 年 目												3 年 目												備 考
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
区画整理	現 況	水稻	水田				○	○	△	△	△	△	△	△				○	○	△	△	△	△	△	△				○	○	△	△	△	△	△	△				○—○ 播種
																																							△—△ 定植	
		大豆						○	○				△	△						○	○				△	△					○	○			△	△				×—× 収穫
		(小麦)								△	△			○	○						△	△			○	○					△	△				○	○			
	計 画	水稻	水田				○	○	△	△	△	△	△	△				○	○	△	△	△	△	△	△				○	○	△	△	△	△	△	△				
		大豆						○	○				△	△						○	○				△	△					○	○			△	△				
		(小麦)								△	△			○	○						△	△			○	○					△	△				○	○			
			普通畑																																					

4 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目 地目名		作物名	作付面積(ha)			作付率(%)		単位面積当たり収量(kg/10a)			生産量(t)			同左生産量増減の内訳(t)		備考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当たり 収量増加	
区画整理	水田	表作	水稻	70.9	54.2	△ 16.7	83.3	67.9	501	533	32	355.2	288.9	△ 66.3	△ 83.7	17.4	
			大豆	14.2	25.5	11.3	16.7	32.1	102	117	15	14.5	29.8	15.3	13.2	2.1	
		小計	85.1	79.7	△ 5.4	100.0	100.0										
		裏作	小麦	22.2	25.5	3.3	26.1	32.0	238	238		52.8	60.7	7.9	7.9		
			小計	22.2	25.5	3.3	26.1	32.0									
	計		107.3	105.2	△ 2.1	126.1	132.0										
	普通畑	春夏作	大豆		0.1	0.1		100.0	102	102			0.1	0.1	0.1		
			小計		0.1	0.1		100.0									
		秋冬作															
			小計														
		計			0.1	0.1		100.0									
合計			107.3	105.3	△ 2.0	126.1	132.0										

※作付面積は本地面積

5 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/10a)				備考
				区分	現況	計画	増減	
区画整理	水田	水稻 (大規模)	54.2	人 力	78.8	13.3	△ 65.4	
				機械力	49.5	9.1	△ 40.4	
		水稻 (個別)	-	人 力	78.8	-	△ 78.8	
				機械力	49.5	-	△ 49.5	
		小麦	25.5	人 力	15.7	5.1	△ 10.7	
				機械力	9.9	3.4	△ 6.5	
		大豆	25.5	人 力	8.0	4.7	△ 3.3	
				機械力	4.9	2.7	△ 2.2	
	小 計		105.2					
	普通畑	大豆	0.1	人 力	8.0	4.7	△ 3.3	
				機械力	4.9	2.7	△ 2.2	
	小 計		0.1					
	合 計		105.3					

6 級地別土地利用区分

該当なし

7 土地配分計画

該当なし

第3節 用水計画

1 計画基準年 昭和39年（上位計画による）※県営野洲川地区土地改良事業：水利使用（更新）申請書

2 計画かんがい方式

（1）水 田

項目 作付	代かき期間	かんがい期間	備 考
早生	4月15日 ～ 4月21日	4月22日 ～ 8月31日	
中生・晩生	4月15日 ～ 4月21日	4月22日 ～ 9月20日	

（2）畑（輪換畑）

うね間かんがい

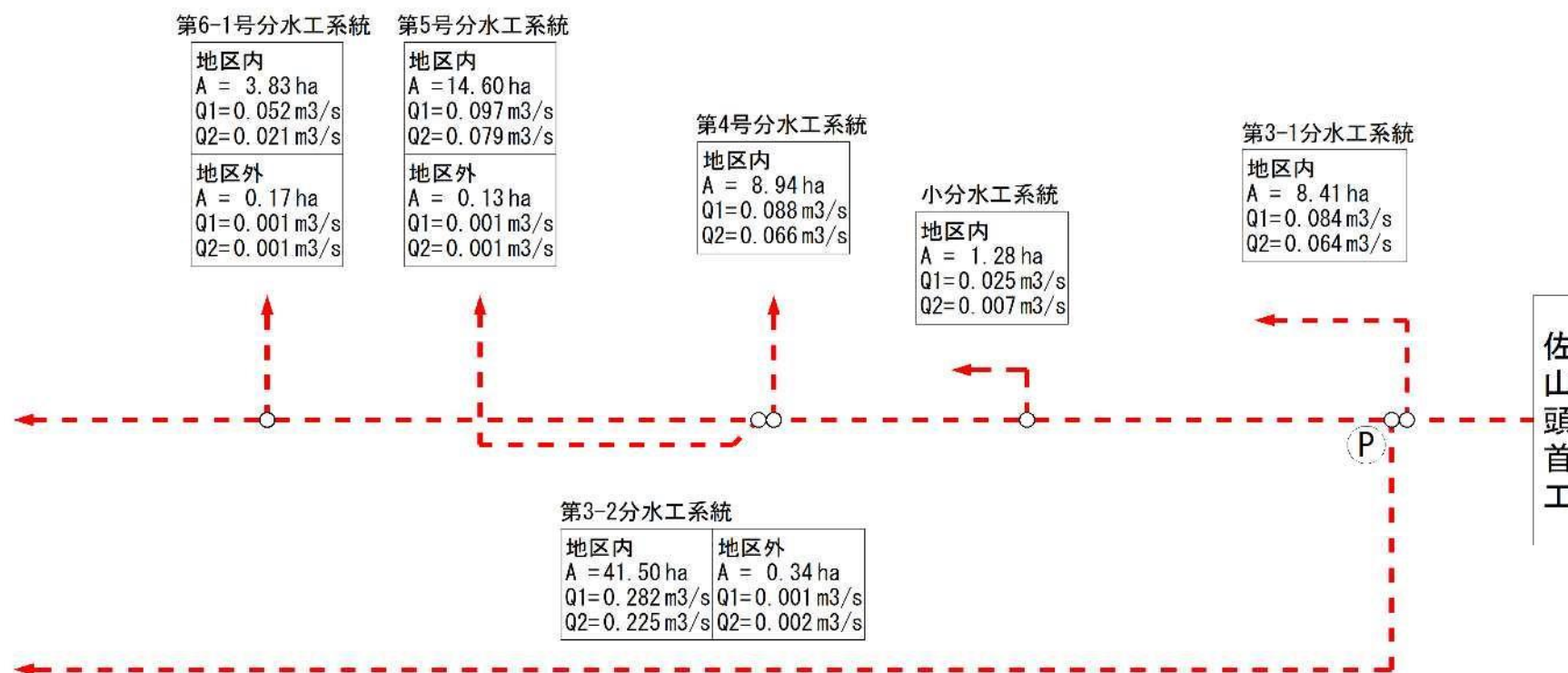
3 計画用水系統

次頁、計画用水系統模式図 参照

計 画 用 水 模 式 図

系統名

地区内	地区外
A : 受益面積	A : 受益面積
Q1 : 代かき用水量	Q1 : 代かき用水量
Q2 : 普通期用水量	Q2 : 普通期用水量



4 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積 (ha)			水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費水量 (m³/s)	損失率 (%)	粗用水量		備考
		事業名			普通期	代かき期	面積 (ha)	平1 均日 か ん た り 深 計 画	平均 間 断 日 数	面積 (ha)	平一 均日 か ん た り 深 計 画	平均 間 断 日 数	面積 (ha)	計単 画位 平均 水量 (mm/日)	面積 (ha)			平均 (m³/s)	最大 (m³/s)	
		区 画 整 理		計	単計 位画 用平 均量 (mm/日)	単計 位画 用代 水か 量き (mm)		(mm/日)	(日)	(ha)	(mm/日)	(日)	(ha)	(mm/日)	(ha)			(m³/s)	(m³/s)	
和野		79.8		79.8	45.6	150	80.3	30.0	6	26.6	30.0	6	0.1			0.477	10	0.468	0.534	
計		79.8		79.8																

※当該地区は幅広畦畔・溝畔とするため用水計画上は、水張り面積とする

(2) 営農飲雑用水 該当なし

5 水源計画

(1) 水利用計画

(第10表-2)

項目 区分		消費水量				現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源工種	備考
		消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	水源名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可能量	純不足 水量	全不足 水量	水源名	水量		
		a (m³/s)	b (m³/s)	c = a - b (m³/s)	d = c / (1 - α) (m³/s)		e (m³/s)	f (m³/s)	g = c - f (m³/s)	h = d - e (m³/s)		(m³/s)		損失率: α = 10%
区 画 整 理	代かき期	0.477	—	0.477	0.534	佐山幹線		—	—	—	—	—	—	
	普通期	0.426	0.008	0.418	0.468	佐山幹線		—	—	—	—	—	—	
	計													

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

該当なし

(第10表-3)

貯水池名	項 目		かんがい面積 (ha)			純貯水量 (千m ³)	利用貯水量 (千m ³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m ³ /s)	備 考
	流 域 面 積 (km ²)		事 業 名							
	直 接	間 接			計					
					-					
計	-	-	-		-	-	-		-	

(イ) 井堰及び自然取入口

該当なし

(第10表-4)

項 目 取水施設名	河 川 名	流域面積 (km ²)	か ん が い 面 積 (ha)			取 水 量		渇 水 量 (m ³ /s)	備 考
			事 業 名			最 大 (m ³ /s)	平 均 (m ³ /s)		
					計				
					-			-	
計			-		-	-	-		

(ウ) 揚水機 該当なし

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積 (ha)			所要水量 (m3/s)		揚水機				備考
		事業名			最大	平均	実揚程 (m)	揚水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全揚水量 (m ³ /s)	
				計							

(エ) 用水路

(第10表-6)

項 目 名 称	か ん が い 面 積 (ha)			最 大 通 水 量 (m ³ /s)	延 長 (km)	構 造	備 考
	事 業 名						
	区画整理	地区外	計				
支線用水路	79.8	0.6	80.4	0.001～0.282	14.443	VUφ150～500	
計	79.8	0.6	80.4		14.443		

(オ) その他の水源施設 該当なし

(3) 水温水質 該当なし

第 4 節 排水計画

1 計画基準雨量

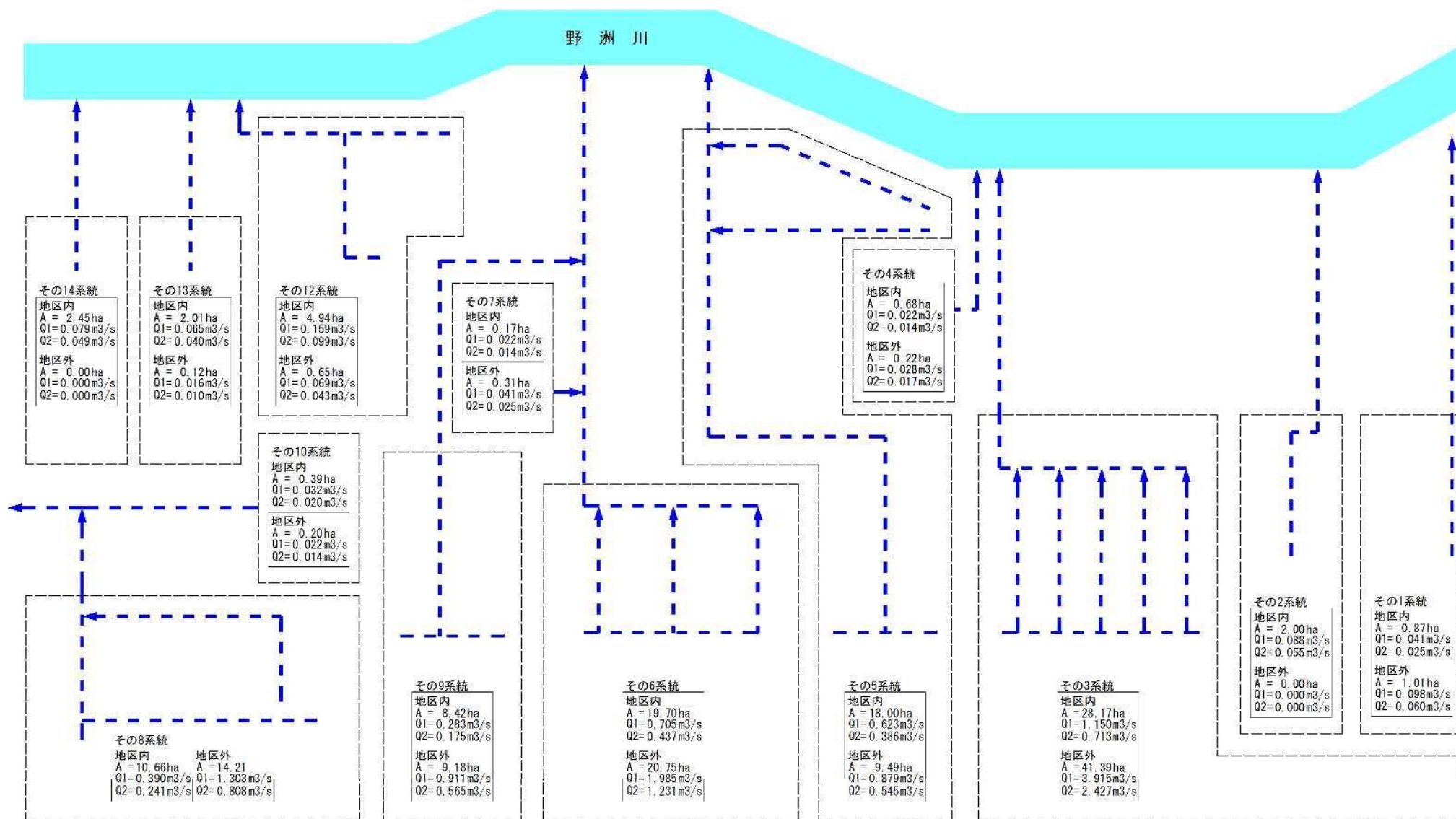
1/10年確率日雨量 210 mm/日

2 計画排水方式 自然排水

3 計画排水系統

次頁、計画排水系統模式図 参照

計画排水模式図



4 計画排水量

(第11表-1)

項 目	受 益 面 積 (ha)			流域面積		基準雨量	降雨による直接単位		基底流出量		全 排 水 量 (m ³ /s)			単位排水量		備 考
	事 業 名			(km ²)			流出量(m ³ /s/km ²)		(m ³ / s /km ²)		山 地	平 地		(m ³ / s /km ²)		
	区画整理	地区外	計	山地	平地		(mm)	山 地	平 地	山 地		平 地	自然排水	機械排水	山 地	
排水系統名																
地区内排水路	79.8	116.2	196.0		1.960	210	10.11	3.210	-	-	-	12.9	-	10.11	3.210	
計	79.8	116.2	196.0	-	1.960	-	-	-	-	-	-	12.9	-	10.110	6.582	

5 排水対策

(1) 排水水門 該当なし

(2) 排 水 機 該当なし

(3) 排 水 路

(第11表-4)

項 目 名 称	流域面積 (km ²)	受 益 面 積 (ha)			計画排水量 (m ³ /s)	延長 (km)	構 造	排 水 本 川			備 考
		事 業 名						名 称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
		区画整理	地区外	計							
支線排水路	0.003 ~0.191	79.8	116.2	196.0	0.032~5.065	11.159	プレハブ柵渠 高密度PE管	野洲川	-	-	
計		79.8	116.2	196.0		11.159					

(4) その他 該当なし

6 たん水検討 該当なし

第5節 道路計画

1 道路及び索道

(1) 道路

(第12表-1)

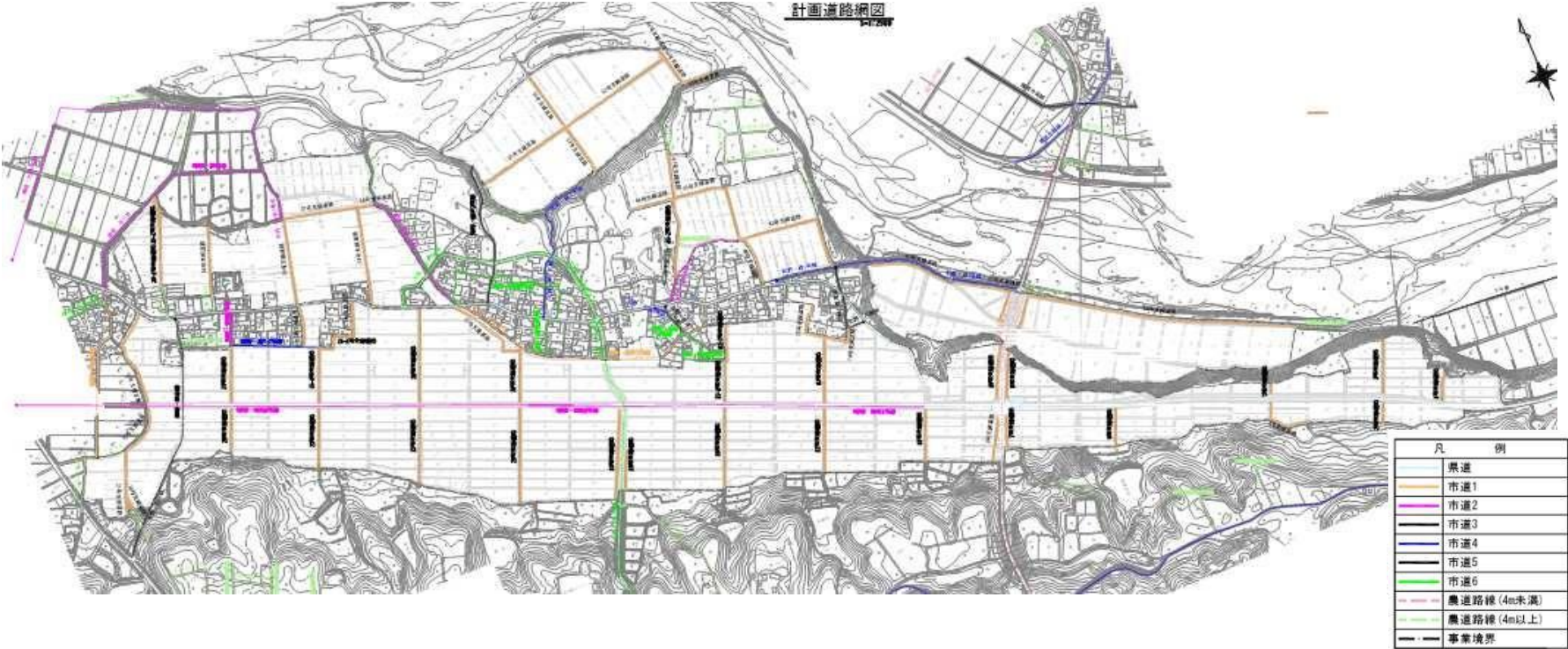
項目 路線名	幅(有効) × 延長 (m) (km)	構 造	既設道路との関係	備 考
支線道路	5.0(4.0) × 6.230	敷砂利	取付道路	
支線道路	1.5(1.0) × 1.505	敷砂利	取付道路	
耕作道路	3.0(3.0) × 10.607	—	取付道路	
市道	3.5(3.0) × 1.505	As舗装	取付道路	
計	19.847			

(2) 索道 該当なし

(第12表-2)

項目 路線名	能 力 (t/hr)	延 長 (m)	接 続 道 路 名	備 考

2 路線配置図



第6節 農用地造成計画 該当なし

第7節 洪水調節計画 該当なし

第8節 干拓計画 該当なし

第9節 農用地整備計画

1 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1)

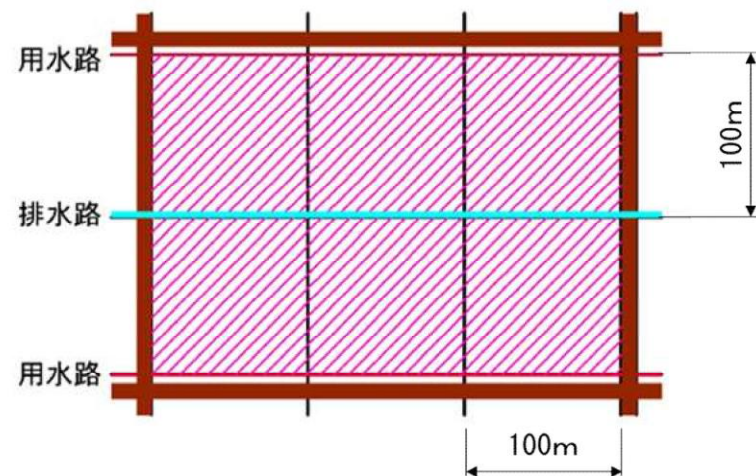
長辺 × 短辺 (m)	区 画 面 積 (ha)	全体面積 (ha)	割 合 (%)	田 面 差 (m)	備 考
100×100	1.0	79.7	99.9		30a以上
		0.1	0.1		30a未満、畑
計		79.8			

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面 積 (ha)	表 土 扱 い 要 否 の 理 由	扱 い 深 (cm)	土 量 (m^3)	備 考
79.8	地力保全	15	119,700	
計			119,700	

(3) 末端道水路配置図



2 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第16表-3-1)

項 目 区 分	面 積 (ha)			土 壌 統 (区) 名	基 準 雨 量 (mm/日)	単 位 排 水 量 (ℓ/s/ha)	計 画 後 の 地 下 水 位 (m)	集 水 渠 出 口 以 下 の 排 水 方 式	備 考
	事 業 名								
	区画整理		計						
和 野	58.4		58.4		210	1.6	0.7		
計	58.4		58.4						

(2) 心土破碎 該当なし

(第16表-3-2)

項 目 区 分	面 積 (ha)			土 壤 統 (区) 名	土 壤 硬 度	備 考
	事 業 名					
			計			
計						

3 客土

該当なし

(第16表-4)

区 分	面 積 (ha)			土壌統(区)名	減水深(mm/日)		作土の厚さ(cm)		10a当たり 客土量 (m3)	土壌の性質		備 考
	事 業 名				現況	計画	現況	計画		受益地 (%)	採土地 (客土材料) (%)	
			計		平均	平均	平均	平均				
計												

4 農地保全

該当なし

第10節 老朽ため池改修計画

該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1 貯水池 該当なし

2 頭首工 該当なし

3 揚水機 該当なし

(第17表-3)

項 目 名 称	位 置	揚水量 (m^3/s)	揚程 (m)		揚水機			原動機			備 考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 (kw)	台数 (台)	

4 用水路

(第17表-4)

項 目 水路名	かんがい面積 (ha)			通 水 量 (m ³ /s)	延 長 (km)			構 造	勾 配	主 要 構 造 物	備 考
	事 業 名				開きよ	トンネル その他	計				
	区画整理	地区外	計								
支線用水路	79.8	0.6	80.4	0.001～0.282	－	14.443	14.443	VU	1/200～1000		
計	79.8	0.6	80.4		－	14.443	14.443				

5 その他かんがい施設 該当なし

第2節 排水施設

- 1 排水水門 該当なし
2 排水機 該当なし
3 排水路

(第18表-3)

項 目 水路名	受 益 面 積 (ha)			排 水 量 (m ³ /s)	延 長 (km)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考
	事 業 名				開きよ	トンネル その他	計				
	区画整理	地区外	計								
支線排水路	79.8	116.2	196.0	0.032～ 5.065	11.159		11.159	プレハブ柵渠 高密度PE管	1/15～1100	落差工等	
計	79.8	116.2	196.0		11.159	－	11.159				

- 4 その他排水施設 該当なし

第3節 道路及び索道

1 道路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

項 目 区 分	路線名	幅 (有効) (m) × 延長 (km)		構 造	付 帯 構 造 物			最急こう配 (%)	同左の延長 (m)	最小曲線 半 径 (m)	備 考
					名 称	構 造	数 量 (箇所)				
農道	支線道路	5.0(4.0)	× 6.230	敷砂利	－	－	－	－	－	－	
	支線道路	1.5(1.0)	× 1.505	敷砂利	－	－	－	－	－	－	
	耕作道路	3.0(3.0)	× 10.607	－	－	－	－	－	－	－	
	市道	3.5(3.0)	× 1.505	As舗装	－	－	－	－	－	－	
計			19.847								

- (2) 道路主要構造物 該当なし

- 2 索道 該当なし

第4節 農用地造成 該当なし

第5節 洪水調節施設 該当なし

第6節 干拓施設 該当なし

第7節 農用地整備施設

1 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工区名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標準区画	土 量 (m3)	面 積 (ha)	土 量 (m3)	
和野	79.7	100×100		79.7	119,550	表土扱い15cm
	0.1			0.1	150	
計	79.8			79.8	119,700	

(2) 末端用水路等 該当なし

(第23表-2)

区 分 \ 項 目	数 量	規 模	構 造	備 考

(3) 末端排水路等 該当なし

(第23表-3)

区 分 \ 項 目	数 量	規 模	構 造	備 考

2 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第23表-4-1)

項目 区分	面 積 (ha)			集 水 渠				排 水 渠						集水渠出口以下の 排水施設			備 考
	事 業 名													名 称			
	区画整理		計	勾 配	管 種	管 径 (mm)	延 長 (m/ha)	勾 配	管 種	管 径 (mm)	深 さ (m)	間 隔 (m)	延 長 (m/ha)	名 称	構 造	数量 (m/ha)	
和野	58.4		58.4	1/500	VU	50～75	40	1/500	PE	50	0.6	7.5	980				
計	58.4		58.4														

(2) 心土破碎

該当なし

3 客土

該当なし

(第23表-5)

区 分	項 目	面 積 (ha)		客 入 土 量 (m3)	土 取 場 土 量 (m3)	運 搬 距 離 (km)	運 搬 方 法	備 考
		事 業 名						
			計					
計								

4 除礫

該当なし

5 農地保全

該当なし

第8節 老朽ため池改修施設

該当なし

第6章 附帯工事計画

該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着 手	令和 7年度
完了予定	令和17年度

第8章 環境との調和への配慮

1 整備上の配慮等事項

- ・対象範囲の水田土壌(表土)内には保全対象種の胞子や種子が存在するため、表土を戻すことで、植物相の再生を図る。

2 施行上の配慮等事項

- ・工事用の作業スペースは、周辺環境をできるだけ改変しないよう最小化に努める。
- ・魚類、両生類等の産卵期が集中する時期を避け、非灌漑期に工事を行うことで濁水の影響を最小化する。
- ・工事施工に際して、低騒音型の機械を使用する。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

本地区は、中心経営体（3法人）を主たる担い手とする計画である。換地計画樹立にあたっては、中心経営体による効率的かつ安定的な農業経営に資するように集団化を図り、これを以て優良農地を確保していくことを基本的な考え方とする。

第2節 換地区の設定

1 換地区の名称、所在、面積

（第25表-1）

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)
第1工区	甲賀市水口町和野	34.7
第2工区	甲賀市水口町和野	31.9
第3工区	甲賀市水口町和野	27.4
第4工区	甲賀市水口町和野	11.3

2 換地区を設定する理由 該当なし

縄伸びや集団化を考慮して、地区分けについては、用水系統、工事施工、集落関係等により地区分けの設定を行う。

第3節 換地計画樹立の基本方針

1 従前の土地の地積の基準

（第25表-2）

換地区名	地積の基準
第1工区 第2工区 第3工区 第4工区	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画の決定した日の登記簿地積とする。 ただし、上記の日から2ヶ月以内に測量士、測量士補又は土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申し出があった場合には、その申し出のあった地積とする。

2 用途別予定地積

(単位：ha) (第25表-3)

用途 (取得予定者) 換地区名		前後	非農用地区域外に換地する土地												非農用地区域に換地する土地										機能交換に係る土地				一般 国 公有地	総 合 計	
			田	畑	山林・ 原野	その他	通常事業施工地 域に含める土地 (令第1条の9 () 書き)			計	本事業によって 生ずる土地改良 施設用地			創設農用地	合 計	特定 用途用地			異 種 目 換地	創設非農用地					合 計	国	県	市 町 村			合 計
							土地 改良 施設	その他	小計		改良区	その他	計			宅地	その他	計		農業経営合理化施設用地	生活上・経営上 必要な施設用地	公用・公共用施設用地	宅地等	計							
第1工区	従前の土地	29.5	-	-	-	0.1	-	0.1	29.6	-	-	-	-	29.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.4	3.7	5.1	-	34.7	
	換 地	24.5	0.1	-	-	5.0	-	5.0	29.6	-	-	-	-	29.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.4	3.7	5.1	-	34.7	
第2工区	従前の土地	28.9	-	-	-	0.0	-	0.0	28.9	-	-	-	-	28.9	-	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	0.0	-	-	3.0	3.0	-	31.9	
	換 地	24.6	-	-	-	4.1	-	4.1	28.7	-	-	-	-	28.7	-	0.0	0.0	0.2	-	-	-	-	-	0.2	-	-	3.0	3.0	-	31.9	
第3工区	従前の土地	23.6	-	-	-	-	-	-	23.6	-	-	-	-	23.6	-	0.4	0.4	-	-	-	-	-	-	0.4	-	-	3.4	3.4	-	27.4	
	換 地	21.3	-	-	-	2.2	-	2.2	23.5	-	-	-	-	23.5	-	0.4	0.4	0.1	-	-	-	-	-	0.5	-	-	3.4	3.4	-	27.4	
第4工区	従前の土地	10.5	-	-	-	-	-	-	10.5	-	-	-	-	10.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.8	0.8	-	11.3	
	換 地	9.3	-	-	-	1.0	-	1.0	10.3	-	-	-	-	10.3	-	-	-	-	0.2	-	-	-	0.2	0.2	-	-	0.8	0.8	-	11.3	
合 計	従前の土地	92.5	-	-	-	0.1	-	0.1	92.6	-	-	-	-	92.6	-	0.4	0.4	-	-	-	-	-	-	0.4	-	1.4	10.9	12.3	-	105.3	
	換 地	79.7	0.1	-	-	12.3	-	12.3	92.1	-	-	-	-	92.1	-	0.4	0.4	0.3	0.2	-	-	-	0.2	0.9	-	1.4	10.9	12.3	-	105.3	

3 農用地集団化の方針

(第25表-4)

区 分 換地区名		地帯別、グループ別	個 人 別 換 地 の 方 法		
			位置の選択方法		区画畦畔の取り扱い
第1工区 第2工区 第3工区 第4工区		地目別集団化	集団化に努め、団地の位置は従前の各集落の耕作地の集まっていたところを中心に定める。 水田の中に点在する畑、雑種地、または畑換地の希望があった場合は、従前に畑が最も多かった位置、または集落に近いところの端田区などに畑地団地を設定し換地する。 各人の従前地の最大団地又は密集地の最大筆を中心に選定する。		出来るだけ大規模に集団化するものとし、畑を除き1戸当たりの団地数はおおむね2団地を目標とする。 畦畔は原則として固定畦畔とする。

4 非農用地換地の方法

換地区名		区分	番号	用途	非農用地区域の 位置の概略	面積 (㎡)	換地の手法	取得予定者	その他
和野	第2工区	非	- 1	営農倉庫用地		199	特定用途用地	従前地の所有者	
	第2工区	非	- 3	資材置場用地		1,480	異種目換地	従前地の所有者	
	第3工区	非	- 4	鉄塔用地		218	特定用途用地	関西電力㈱	
	第3工区	非	- 5	上水道用地		3,479	特定用途用地	甲賀市	
	第3工区	非	- 6	資材置場用地		1,337	異種目換地	従前地の所有者	
	第4工区	非	- 2	営農施設用地		1,610	創設換地	営農組合	
合 計						8,323			
内 訳				換地の手法	創設換地	1,610			
					異種目換地	2,817			
					特定用途用地	3,896			
				合 計		8,323			
				工区	第2工区	1,679			
					第3工区	5,034			
					第4工区	1,610			
				合 計		8,323			
				用途	鉄塔用地	218			
					上水道用地	3,479			
					資材置場用地	2,817			
					営農施設用地	1,610			
					営農倉庫用地	199			
				合 計		8,323			

第4節 土地の評価及び清算の方法

1 評価の方法

標準地比準方式

（評価組織） 土地評価基準書、評価採点表により、和野地区（第1工区・第2工区・第3工区・第4工区）換地委員会が評価する。

2 清算の方法

増価額比例地積清算方式

第5節 換地計画樹立の年度計画

（第25表-6）

換地区名	区分	一時利用地の 指定予定年度	換地計画の 決定予定年度	換地処分 予定年度	備考
第1工区		令和7年度～令和13年度	令和14年度	令和14年度	
第2工区		令和9年度～令和15年度	令和16年度	令和16年度	
第3工区		令和12年度～令和16年度	令和17年度	令和17年度	
第4工区		令和14年度～令和16年度	令和17年度	令和17年度	

第6節 換地処分の時期に関する特則

一つの換地区の全部について区画整理工事が完了し確定測量が行われたときは、土地改良法第89条の2第10項において準用する法第54条第2項ただし書きの規定により、換地処分を行うことができるものとする。

第 1 0 章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

事業名 区分	区画整理 (百万円)	備 考
整地工	575	
道路工	228	
用水路工	928	
排水路工	1,251	
暗渠排水工	174	
小 計	3,156	
改 め	3,156	
測量試験費	103	
用地買収補償費	86	
換地確測費	155	
工事雑費	35	
小 計	379	
事務費	140	
合 計	3,675	

第 1 1 章 効用

(第27表)

事業名 区分	項目	年増加見込効果額 (千円)	年増加見込所得額 (千円)	備 考
区画整理	作物生産効果	3,231	△ 988	
	営農経費節減効果	214,541	214,541	
	維持管理費節減効果	△ 648	△ 648	
	農業労働環境改善効果	19,599	-	
	地籍確定効果	3,574	-	
	国産農産物安定供給効果	△ 1,744	-	
	計	238,553	212,905	

<参考>

総便益額： 3,904,300 千円

第 1 2 章 関連する事業

該当なし

(第28表)

区 分	事 業 名	事業主体	受 益 面 積 (ha)	事 業 内 容

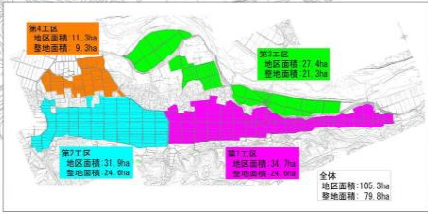
第 1 3 章 現況・計画図面

1 現況計画平面図

別添のとおり

現況計画平面図
S=1:2500

No.	地番	尺	計
A	敷地面積 (㎡)	支線道路 (敷地別) W=5.0m	
E1	計画標高	耕作道路 W=3.0m	
水田	水田	保通	
田	田	市道	
田	田	田間水路	
田	田	低圧水路	
田	田	田間水路 (排水路)	
田	田	支線排水路 (排水路)	
田	田	支線排水路 (排水路)	
田	田	排水路	



工事名	令和4年度 第2回 助野地区 住環境改善事業計画策定業務委託
図面名	現況計画平面図
縮尺	1:2500 縮尺番号 471
変更区分	当初 変更
作成年月日	
発注者名	北タイ設計株式会社
発注者名	申請者住所: 県庁前線

道路計画平面図
S-1/2500

凡 例	
No. 地番	支線道路(敷地別) R=5.0m
A 敷地面積(m ²)	幹線道路 R=3.0m
EL. 計画標高	橋梁
水面	歩道
排水	自転車道
排水用路(排水溝)	自転車道
支線排水路(排水溝)	
支線排水路(排水溝)	
支線排水路(排水溝)	
支線排水路(排水溝)	



工率年	令和4年度	第1回	勘野地区
計画名	道路計画平面図		
縮尺	1/2500	縮尺書	2"=1
変更区分	当 初	第 回	変更
作成年月日			
発注者名	北タイ設計株式会社		
発注者名	東京都政府 建設部 建設局		

用水路計画平面図
S-1:2500

記号	説明	尺	記号	説明
A	用地面積 (m ²)		支線道路 (敷設路) R=5.0m	
EL	計画標高		幹線道路 R=3.0m	
水田	水田		橋梁	
河	河川		排水	
排水用池	排水用池		低圧道路	
排水用池 (貯水用)	排水用池 (貯水用)		一帯心工事 (平動転工)	
支線排水路 (排水路)	支線排水路 (排水路)		一帯心工事 (自動転工)	
支線排水路 (排水路)	支線排水路 (排水路)			
支線排水路 (排水路)	支線排水路 (排水路)			
排水路	排水路			



工事名	令和4年度 第2回 町野地区 排水整備事業計画策定業務委託
図面名	用水路計画平面図
縮尺	1:2000
図面番号	2-1
変更区分	当初 第 回変更
作成年月日	
発注者名	北タイ設計株式会社
発注者名	申請者住所 奥村町御膳

排水路計画平面図
S-1:2500

記号	内容	尺	記号	内容
A	用地面積 (㎡)		支線道路 (敷設別) R=5.0m	
EL	計画標高		幹線道路 R=3.0m	
水田			溝道	
畑			市道	
農道			区道	
河川 (幅 10m 未満)			県道	
支線排水路 (暗水路)				
支線排水路 (明水路)				
支線排水路 (管水路)				
県道水路				

工率	令和4年度	第166号	助野地区
計画名	排水路計画平面図		
縮尺	1:2500	図面番号	2-4
変更区分	当初	変更	変更
作成年月日			
発注者名	北タイ設計株式会社		
発注者名	申請事務所 農林部農政課		